

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター

福山市沼隈町草深

1889番地6(沼隈支所3階)

TEL 980-7713

FAX 987-2382



E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ(URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>)から「あしだかわ」で検索!

ピンチをチャンスに変える地域づくり講座

■団体力UPコース

助成金・補助金や、自力で財源を確保した実践事例です。まち推、自治会、各団体の方などにおススメの講座です。

第1回 12月5日(木)

講師の橋爪隆昌さん(常石学区まちづくり推進委員会事務局長)より、焼きそばでつなぐ学区の絆をテーマに常石学区での活動や思いなどをお話いただきました。

第2回 12月19日(木)

講師の客本牧子(NPOほんわか代表理事)より、色々な「補助金・助成金」活用術をテーマにNPOほんわかでの活動を紹介していただきました。

★次回、最終回です。

1回目、2回目と参加できなかった方もぜひともご参加ください!!

1月16日(木) 19:30~

人権交流センター

「地域の強みを活かす

アイデア考」

三宅 予枝子 さん

南部生涯学習センター職員

予告! ローズパーティー

3月8日(土) 9日(日)開催!

しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

内海公民館 TEL：986-3722

ドラムコンサート

と き 1月11日(土) 10:00~
 ところ 内海公民館 集会室
 内 容 内海小学校 渡辺祐二郎くんが内海町を元気にしたいとの思いをこめてドラムを演奏します



申し込み・参加費は不要です。
 気軽にご参加ください

明王台公民館 TEL：952-3511

防災のまちづくり

と き 1月17日(金)
 19:00~21:00
 ところ 明王台公民館 会議室
 講師 山口 正記 さん
 (福山市危機管理防災課次長)

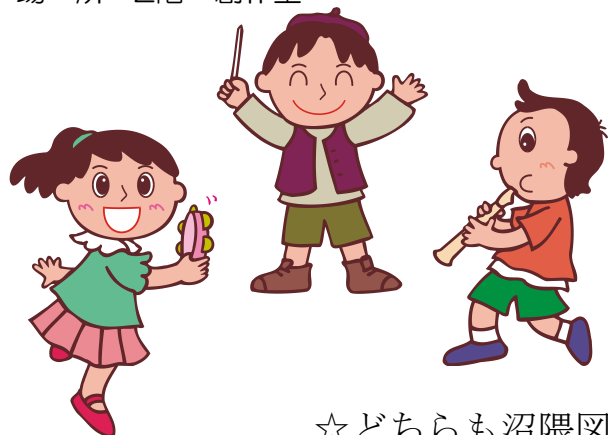
申し込み・参加費は不要です。
 気軽にご参加ください



沼隈図書館 TEL：987-5630

おたのしみ会だ！ヒヒーン！

と き 1月18日(土)
 14:00~15:00
 内 容 馬がでてくる絵本の読み聞かせや、かんたんな凧作りをします
 場 所 2階 創作室



☆どちらも沼隈図書館にて、無料で行われます

あかちゃんといっしょのおはなし会

と き 1月8日(水)・9日(木)
 両日とも 11:00~11:30
 内 容 絵本の読み聞かせ、手遊びなど
 対 象 乳幼児と保護者

ニューイヤーコンサート2014

と き 1月26日(日)
 11:00~12:00
 内 容 サンパルオーケストラによる演奏
 場 所 2階 市民ギャラリー

報告

●済美校区人権問題講演会

きっと笑って会える日を～結婚差別の体験から～

12月4日(水)瀬戸コミュニティセンターで井上泰子さんを講師に招き、済美校区人権問題講演会「きっと笑って会える日を～結婚差別の体験から～」を行いました。

井上さんご自身が、被差別部落出身男性と出会い、交際、結婚に至るまでの過程で体験した結婚差別やその後の家族とのかかわりについて話していただきました。

交際中に彼から部落出身であることを告げられたが、彼と結婚を前提に交際を続けようと決め、結婚に向けて自身も部落差別について本や講演会などで知識を得ながら、父母および親戚を説得しようとしたそうです。しかし、長い苦しみの末に家族の縁を切ることで結婚できました。家族と絶縁するという決断で、もう二度と家族とは会えないが楽になれるという思いやこのような決断をしなければならぬ差別の現実につらい思いをしたそうです。

かたくなに結婚を許してくれなかった母と手紙や電話でのやり取りを通して、兄の結婚式に井上さんだけ参加できることになったのですが、井上さんは家族で参加できないならと断ったそうです。しかし、彼から「絶縁状態だった中、井上さんだけでも参加できるようにするには大変だったはずだから是非参加して」と言われ、両親に感謝し、参加することを決めたそうです。

「入り口は部落問題だけど、人を見る目、世界が変わった。この経験を伝えることで考える機会になってもらえればいい」との母からの後押しで現在講演を続けられているとおっしゃっていました。



報告

●城西校区人権学習講座

出会いがつかないでくれた命

～後向きの人生が、いつの日か前向きに～

12月6日(金)山手コミュニティセンターで加藤りつこさんを講師に招き、城西校区人権学習講座「出会いがつかないでくれた命～後向きの人生が、いつの日か前向きに～」を行いました。

加藤さんは1997年の阪神・淡路大震災で息子さんを亡くされ、生きる気力を失う中、息子が大学入学時に母親宛に書いた手紙が彼の死後マスコミで紹介され、全国で反響を呼び、各地で講演を行うようになったそうです。

息子さんが小学3年生のとき祖母の介護生活が始まり、当時は十分な福祉制度が確立されておらず、旅行に出かけることなど出来ない状態でした。そんな中息子さんは文句も言わずにいたそうです。中学生になると荒れた生活を送るようになりましたが、担任の先生の言葉や図書館にあった本から、神戸大学に行くこと、大学院に行くこと、国連で働きたいことなどの目標を見つけていったそうです。一浪のすえ、神戸大学に合格し、親子3人で初めての旅行の帰りに息子さんから手紙をもらったそうで、帰りの新幹線はずっとその手紙を読んでいたそうです。彼の死後この手紙がきっかけで、様々な出会いにつながり、前向きに生きてこられたそうです。

誰かのために何かをすることが前向きに生きるために大事なことだと気づき、東日本大震災の被害にあった高校の野球部を応援するため、イベントやコンサート・講演会などを行い、その収益を全額寄付しているそうです。また、学校法人盈進学園中学校・高等学校ヒューマンライツ部とも交流をし、今回の講演会で手話をしながらの合唱を数曲披露してくれました。

じんけんは ひとりひとりの たからもの

報告！

ピンチをチャンスに変える地域づくり講座

■ 獣害対策コース

第1回 11月16日(土) 講師 小林 努さん(福山市農林水産課主事)

熊野学区の電気柵を見ながら、コツを学びました。大切なのは、電圧計でこまめに電圧をチェックすることと、できるだけイノシシの足が土を踏み通電させるように工夫することだと分かりました。その後、イノシシに荒らされた畑を見学し通り道や荒らされなかった畑との違いについて学びました。

第2回 11月30日(土) 講師 佐藤 平治さん(能登原学区まちづくり推進委員会委員長)

みかん畑の被害状況やイノシシの罾、鉄柵を見て回りました。柵と柵には隙間ができないよう、紐で固定されていました。イノシシに食いちぎられないように、畳の縁を使う工夫がされていました。



第3回 12月11日(水) 講師 江口 祐輔さん

(近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム主任研究員)

生態から分かる基本の対策、何となくでやっている対策の落とし穴についてお話していただきました。【①嫌がることをする ②畑を囲う ③駆除する】どれかの対策に偏らず、順番にすることが大切です。

どんな対策でも最初は警戒します。だから効果があるような気がするが、よく観察して安全だとわかると効果が無くなります。それどころか、食べ物の場所を教えてしまうという逆効果になる事があります。例えば、音の鳴るものや光るものは、最初観察するので被害が減りますが害が無い(安全)と判断したら、その音や光のあるところにえさがあると思ってよって来てしまうそうです。

電気柵については、第1回でも話がありましたがベストな高さは、20cm40cmです。トタンで以前畑を囲った事のある方なら、高さに不安を感じると思いますがイノシシにとってちょうどぐりにくく、まず鼻で確認する高さなので十分な電圧があればかなり効果的だそうです。



ぬたうちなどするように、イノシシは虫を嫌う動物です。ですから、刺激臭(畑の虫よけ用など)は、人間にとって嫌なにおいですが、実はイノシシは大好きだそうです。同じ理由で他の獣の尿も、対策どころか逆に呼び寄せてしまうそうです。

その他にも、たくさんの実験の画像を見ながら、説明していただきました。気をつける事は、対策するなら柵の高さよりも、まず下からくぐられない工夫をすること。そして今、耕作放棄地が増え、食べ物が手に入りやすくなり、イノシシが繁殖しやすくなっています。地域の協力を得て里に入れさせないようにすることで減らすだけでなく、増やさないようにする工夫も大切です。



～ Q&A ～

①のりあみの一部を赤く塗ったら、その部分をイノシシが通らなくなった。全部を赤く塗るべき？

答- いいえ、一時的な環境の変化に慎重になっているだけです。そして、イノシシには赤色は灰色に見えるので色自体の効果は薄いと思います。(ペンキのにおいに警戒しているだけかもしれません。)

②実際にどのくらい飛べるの？

答- 平均的に1m前後。すごく飛べるやつは2mいくかもしれないけど。あまり高さにこだわらないで欲しいです。やはり、大切なのは下をくぐられないようにする対策です。